

**作成例 2
公図集合図(1:500)**

施設計画を明示すること。

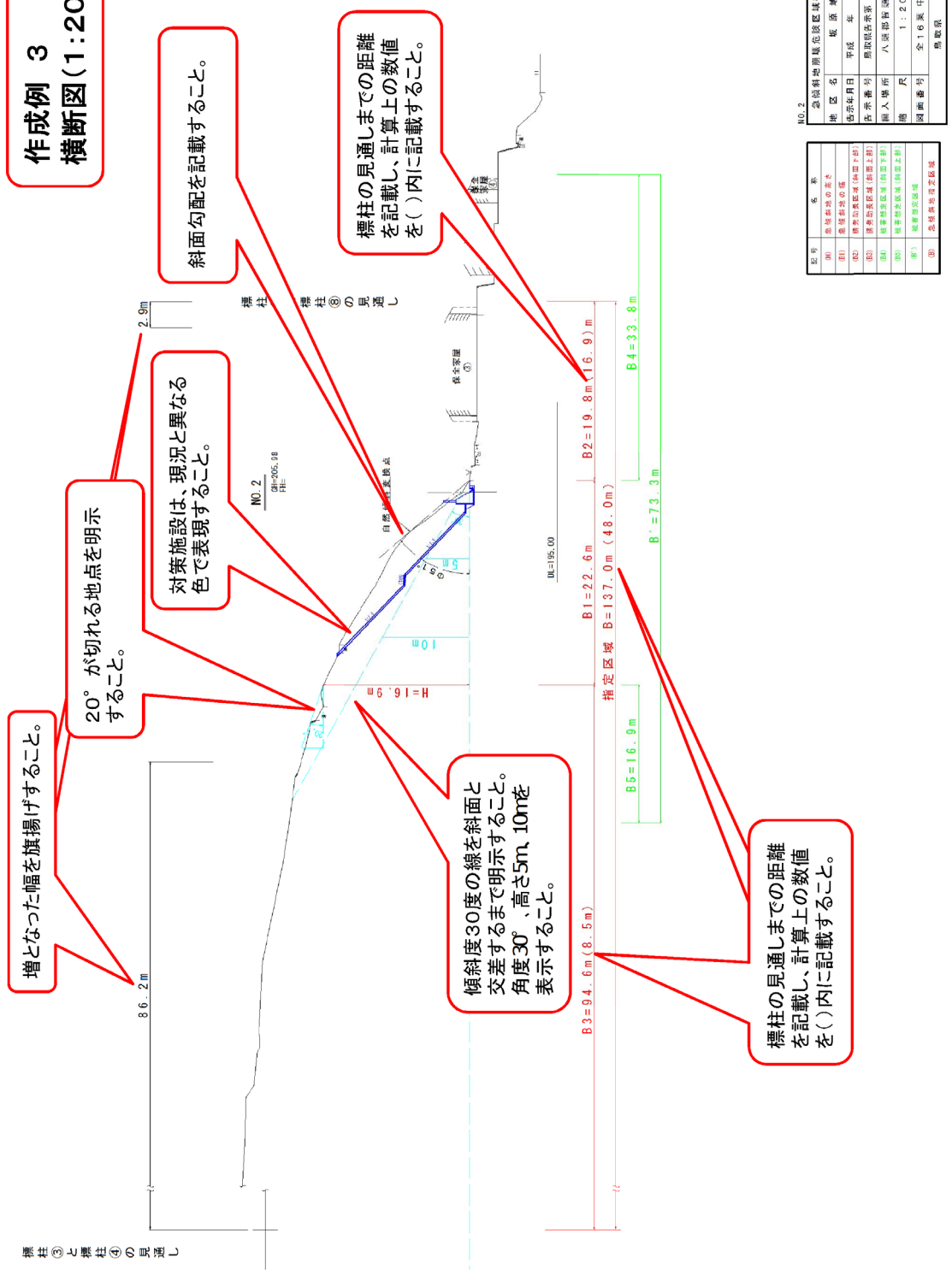
既指定範囲を明示すること。

公図集合図作成にあたっては概ね実測平面図にあわせて作成すること。

字界線を明示すること。

- 地番が判別しやすいよう、文字の大きさ等を適宜工夫すること。(地番の下に地目、面積、所有者を明記すること。)
- 特に指定や計画の線と重なる場合、判別できるようにレイヤを前面にする等の対応をとること。

作成例 3 横断面図 (1:200)



記号	名称
(0)	急傾斜地の発生
(1)	急傾斜地の位置
(2)	急傾斜地発生原因(斜面下側)
(3)	急傾斜地発生原因(斜面上部)
(4)	急傾斜地発生原因(斜面下部)
(5)	急傾斜地発生原因(斜面下部)
(6)	急傾斜地発生原因(斜面下部)
(7)	急傾斜地発生原因(斜面下部)
(8)	急傾斜地発生原因(斜面下部)

NO.2 急傾斜地発生原因区域横断面図	
地区名	地区別
告示年月日	平成 年 月 日
告示番号	告示第 号
個人番号	八景部管区管内
縮尺	1:200
図面番号	全16張中の内4
	鳥取県